

第5期 定時株主総会

UACJ

報告事項

第5期 事業報告

平成29年 4月1日から
平成30年 3月31日まで

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

(1) 事業の経過及びその成果

世界の経済情勢

- 米国や欧州において回復基調が継続
- 中国においては成長率の鈍化が定着
- 新興国において全体としては回復基調

(1) 事業の経過及びその成果

日本の経済情勢

- **企業部門で生産が引き続き増加**
- **家計部門でも緩やかな回復基調が継続**

当社グループの連結業績

科目	金額		
売上高	6,242億7千	万円	9.8%増
営業利益	292億	5百万円	12.9%増
経常利益	194億	8百万円	2.1%減

当社グループの連結業績

科目	金額
親会社株主に帰属する 当期純利益	122億5千3百万円 40.6%増

当社単独の業績

科目	金額
売上高	2,729億7千 万円 5.4%増
営業利益	140億 1百万円 6.4%増
経常利益	196億5千 万円 26.0%増

当社単独の業績

科目	金額
当期純利益	154億4千3百万円 42.1%増

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業

伸銅品事業

加工品・関連事業

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品業界の状況

板類

飲料缶用



需要減少

輸送関連分野



堅調に推移

半導体・液晶製造装置



堅調に推移

輸出物件の減少などにより
板類全体の数量は伸び悩み

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品業界の状況

押出類

自動車分野



好調継続

一般機械向け



好調継続

底堅く推移

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業（国内）

当社グループの売上数量



業界全体需要と同様



板押出とともに前期を超える

特に自動車関連や厚板需要は高水準の販売が継続

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業（海外）

- **北米 Tri-Arrows Aluminum Inc.ローガン工場**
自動車パネル用アルミニウム素材の生産設備立上げ等
販売量は前期比で減少
- **タイ王国 UACJ (Thailand) Co., Ltd.**
一貫生産の本格化
販売量は前期比で増加

当社グループのアルミ圧延品総量では前期を上回る

企業集団のセグメント情報

アルミ圧延品事業

売上高	4,979億	3百万円	10.3%増
営業利益	296億5千3百万円		10.8%増

企業集団のセグメント情報

伸銅品事業

■ 家庭用及び業務用エアコンの国内生産



好調に推移

■ 国内出荷台数



前期を上回る

■ 国内及びマレーシアでの生産



高水準を維持



売上数量は前期を上回る

企業集団のセグメント情報

伸銅品事業

売上高	456億1千1百万円	5.6%増
営業利益	20億7千5百万円	195.3%増

企業集団のセグメント情報

加工品・関連事業

■ IT関連を中心とした販売 → 増加

売上高

1,846億2千4百万円 10.7%増

営業利益

42億6千2百万円 13.9%増

(2) 設備投資及び資金調達の状況

(2) 設備投資及び資金調達の状況

設備投資

タイ王国

UACJ (Thailand) Co., Ltd.

- 第三期分の設備投資を継続中
- 平成31年6月稼働開始予定
- 稼働後は年間約32万トンの生産体制

米国

Tri-Arrows Aluminum Inc. ローガン工場

- 設備投資を継続中
- 稼働後は年間約40万トンの生産体制

(2) 設備投資及び資金調達の状況

設備投資

国内

必要な劣化更新投資等

設備投資総額

当社グループ全体 総額512億円(工事ベース)

(2) 設備投資及び資金調達の状況

設備投資計画

福井製造所

自動車パネル用アルミニウム材の今後の旺盛な需要

→ 熱処理及び表面処理設備の新設（平成29年10月決定）

株式会社UACJ押出加工名古屋

自動車用アルミニウム構造材・部品の需要拡大

→ 最新鋭押出機1台導入（平成30年2月決定）

(3) 対処すべき課題

(3) 対処すべき課題

経済情勢

- 地政学的リスクの継続
- 米国政権による保護貿易主義、移民政策、通貨戦略などの政策の行方
- 中国政権による米国保護貿易主義に対する対抗措置

不透明感が増すと想定

(3) 対処すべき課題

新中期経営計画の重点方針

将来ビジョン

UACJのありたい姿

アルミニウムの可能性を最大限に発揮し、
社会と環境に貢献する

新中計

2018～2020年度重点方針

1. 成長市場（アジア・北米）、成長分野（自動車）に注力継続
2. 先行投資の着実な回収
3. 資本効率の向上（ROIC重視）
4. 行動理念の共有と浸透“UACJウェイ”

前中計

2015～2017年度 重点実行項目

- 海外展開の加速－成長市場、成長分野への積極投資、グローバル供給体制構築
- 国内最適生産体制の構築

(3) 対処すべき課題

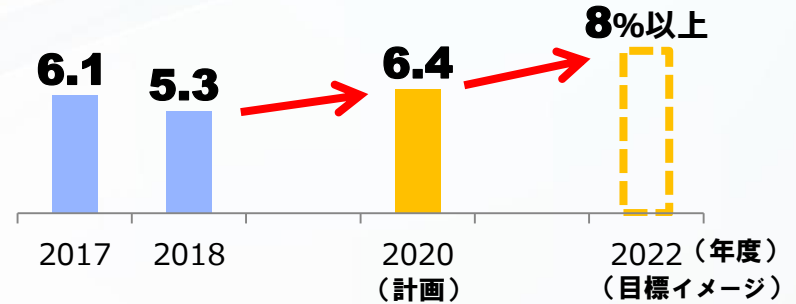
新中期経営計画数値

2020～22年度にかけて利益大幅拡大～新中計最終年度の2020年度は通過点

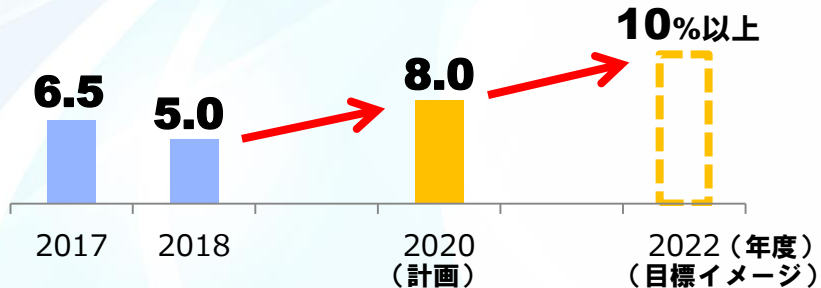
経常利益（億円）



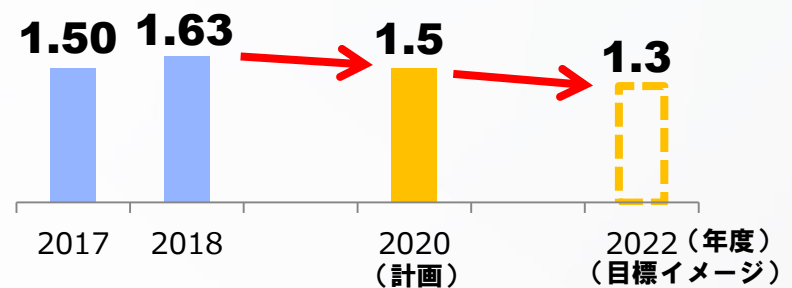
ROIC (%)



ROE (%)



D/Eレシオ（倍）



1.企業集団の現況に関する事項

(4)財産及び損益の状況の推移

(5)重要な子会社の状況

(6)主要な事業内容

(7)主要な営業所及び工場

(8)従業員の状況

(9)主要な借入先

**お手許の招集ご通知35ページから39ページに
記載の通りでございます**

2.会社の株式に関する事項

3.会社役員に関する事項

4.会計監査人の状況

5.会社の体制及び方針に関する事項

**お手許の招集ご通知40ページから48ページに
記載の通りでございます**

連 結 貸 借 对 照 表
連 結 損 益 計 算 書
連 結 株 主 資 本 等 变 動 計 算 書
連 結 注 記 表
貸 借 对 照 表
損 益 計 算 書
株 主 資 本 等 变 動 計 算 書
個 別 注 記 表

連結貸借対照表

平成30年3月31日現在

連結貸借対照表 (資産の部)

科目	金額
流動資産	3,243億1千8百万円
固定資産	4,498億7千3百万円
資産合計	7,741億9千1百万円

連結貸借対照表(負債の部)

科目	金額
流動負債	2,731億5千7百万円
固定負債	2,926億3千8百万円
負債合計	5,657億9千5百万円

連結貸借対照表(純資産の部)

科目	金額
資本金	522億7千7百万円
資本剰余金	803億1千8百万円
利益剰余金	518億4千1百万円
自己株式	△2億9千5百万円
株主資本	1,841億4千1百万円
その他の包括利益累計額	100億9千4百万円
非支配株主持分	141億6千1百万円
純資産合計	2,083億9千6百万円

お手許の招集ご通知49ページをご参照ください

連結損益計算書

平成29年4月 1日から
平成30年3月31日まで

連結損益計算書

科目	金額
売上高	6,242億7千 万円
営業利益	292億 5百万円
経常利益	194億 8百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	122億5千3百万円

お手許の招集ご通知50ページをご参照ください

連結株主資本等変動計算書

平成29年4月 1日から
平成30年3月31日まで

連結株主資本等変動計算書

科目	金額
当期首純資産残高	1,983億6千 万円
剰余金の配当	△28億9千5百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	122億5千3百万円
自己株式の取得	△5千4百万円
その他の包括利益累計額からの組替	2億3千1百万円
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5億 円
当期変動額合計	100億3千6百万円
当期末純資産残高	2,083億9千6百万円

お手許の招集ご通知51ページをご参照ください

連結注記表

お手許の招集ご通知52ページから58ページに
記載のとおりでございます

当社単独

貸 借 対 照 表 損 益 計 算 書 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書 個 別 注 記 表

お手許の招集ご通知59ページから65ページに
記載の通りでございます

第5期 定時株主総会

UACJ